

国立大学法人香川大学 香川大学

(審査・評価委員の所見)

- ・希少糖の多くの分野への応用がこれほど広がっていることは認識を新たにした。このアワードの資金は医療分野への応用、そこから生まれる知財ライセンス、さらにはスタートアップへの道筋を考えても大きな期待を持つケースであると思う。
- ・非常に特徴のある希少糖研究を進めており非常に評価できる、海外への展開やコンクリート領域への展開など非常に広がりがあり評価できる。
- ・事業化に向けた実用化共同研究がスタートしているので、高付加価値分野やGX分野など、幅広い分野において経済的・持続的循環が可能なエコシステムが構築されることに期待したい。
- ・希少糖を軸に産学連携拡大を図っており、評価できる。ビジネスについてもよく検討しており、アワードの使い道も明確である。
- ・希少糖の多様な用途へのアプローチは先進性・発展性に富んでおり、産業レベルでの国際的競争力確保への獲得への道筋に期待が持てる。

国立大学法人鹿児島大学 鹿児島大学

(審査・評価委員の所見)

- 2年間の支援が順調に成果を生んでいることを確認した。畜産は鹿児島大学の重要な研究と教育のターゲットだと考えていたので、その更なる発展にアワードが使われるのであれば、成果は期待できると考える。
- URA のキャリアパスについてテニユア化の検討や幅広いキャリアパスの構築を進めていくところは期待できる、地方での URA 人材像を示していただきたい。
- 競争休養馬のリハビリテーションなども必要なことだが、地域の馬産業振興のためにはセール（セリ市場）に上場できる競争馬の生産も視野に入れた展開に力点を置くことも効果的だと考える。
- 馬産業に対する地域からのニーズは文化的な要素が強いため、これらのニーズの解決を行うことで、地域をけん引する産業に育てていくイメージが不明確に感じる。
- 施策自体はきちんと進めていると思われるが、馬産業は地域振興まで育つかどうかが見極めが難しい。サーキュラーエコノミー等への投資を増やしたほうがよいのではないか。
- サーキュラーエコノミー実現の為に他大学との連携の意図を明確に持っている点、アワード資金の使途も明確と考える。